

子ども達が平等に機会を手にする社会へ

NPO法人キッズドア基金

ANNUAL

REPORT 2025

2025年度 事業報告



KIDS DOOR
FUND

特定非営利活動法人キッズドア基金

NPO法人キッズドア基金

代表理事 松見幸太郎

■はじめに

2019年度に認定を取得し、奨学金事業を7年間継続して参りましたが、2025年4月に認定更新は叶わない結果となり、現在は通常のNPOとして活動を継続しております。

検討を重ねた結果、姉妹団体である認定NPO法人キッズドアにて奨学金事業を継続していくこととなりました。2026年度から徐々に移行していく予定です。

○認定更新不認定の経緯：会計処理の不備(一部寄付収入の未計上)

寄付金の一部をキッズドア基金名義の定期預金口座に入金しておりましたが、会計帳簿への計上漏れがありました。寄付金の不正利用、私的利用は一切ございません。



■これまでの活動について

2025年度の**奨学金支給人数は、過去最高となる2541名**へ拡大することができました。実施した奨学金プログラムの内容、アンケート調査からわかる受給ご家庭の状況、受給生からの声をお届けします。

また、2019-2025年度の7年間累計で、**奨学金支給人数11,530人、支給総額7.7億円**という実績を残すことができました。奨学金を支えて下さった、企業・個人からの多大なるご寄付に改めてお礼を申し上げます。

近年、公的奨学金や民間団体等からの支援拡充もあり、**低所得家庭からの高等教育進学率は、2018年度の40%から2025年度は73%(全世帯平均：85%)へと大幅に改善**しています*。ここ数年、いくつかの他団体が進学準備に対する支援を開始するなど、社会の変革に対しても一定の成果を残すことができたと自負しております。

*文部科学省調査。高等教育は大学・短大・専門/専修学校・高等専門学校を含む。

低所得家庭：住民税非課税世帯。

■ 2019-2026年 活動実績

支給人数合計

11,530人

支給総額

7.7億円

総費用に占める

奨学金割合：83%

その他事業費**割合：15%

**その他事業費：振込手数料、外部事務委託費用、通信費、支援物資、イベント開催・情報支援関連費用等。

【目次】

P2 ご挨拶

P3 奨学金支給実績

P4 受給ご家庭の状況

P5 ゴールドマン・サックス奨学金

P9 進学応援奨学金 supported by 日本生命

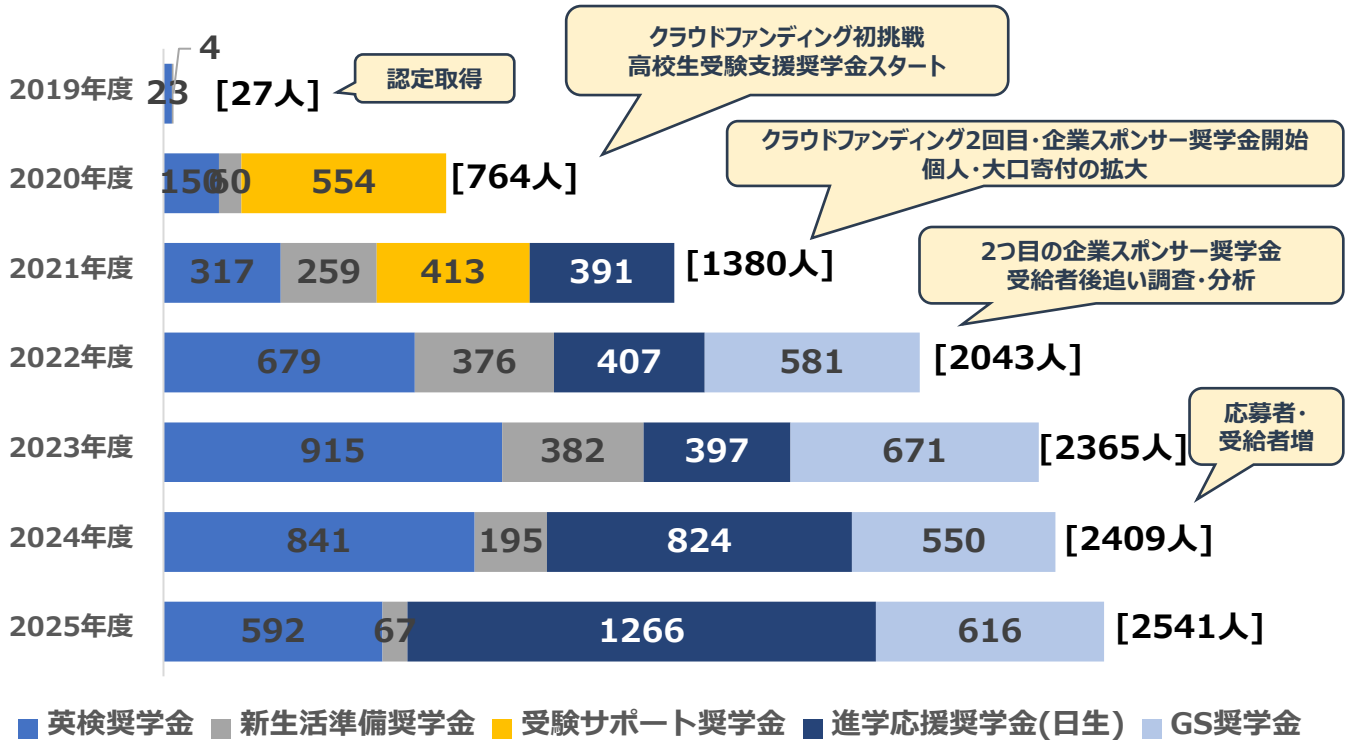
P10 英検奨学金

P11 新生活準備奨学金

P12 会計報告・支援企業

P13 団体概要

奨学金支給実績



2025年度 奨学金支給実績

2025年7月、11月～2026年3月 **ゴールドマン・サックス 大学受験給付奨学金** 5万円X**616名** + 受験伴走支援 + 10万円X**530名**(合格後)

大学・短大進学を希望する、高3・一浪生へ、進学準備のための奨学金5万円と、合格後に10万円を支給。姉妹団体の認定NPO法人キッズドアより、オンラインを活用した受験伴走支援を提供。

2025年11月 **進学応援奨学金** 10万円X**1266名**
Supported by **日本生命**

大学・短大・専門学校進学を希望する、高3・一浪生へ、進学準備のための5万円を支給。

2025年9月 **英検奨学金** 平均約9,000円X**592名**

中高生へ、英検受験代相当を奨学金として支給。

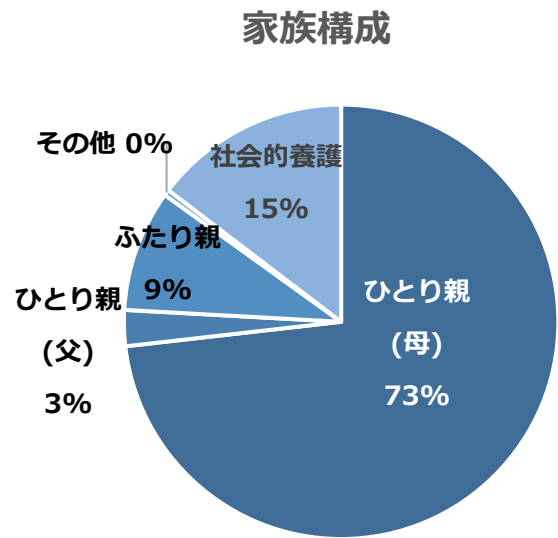
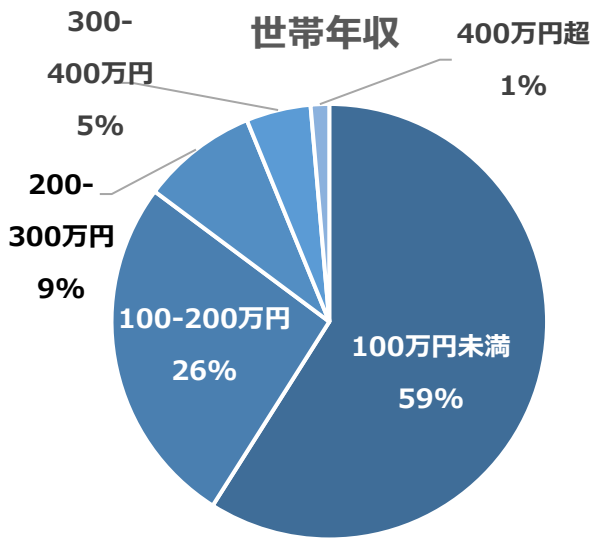
2026年3月 **新生活準備奨学金** 5万円x**67名**
対象：高3・浪人

進学・就職する高3・一浪生へ、新生活準備を支援する奨学金を支給

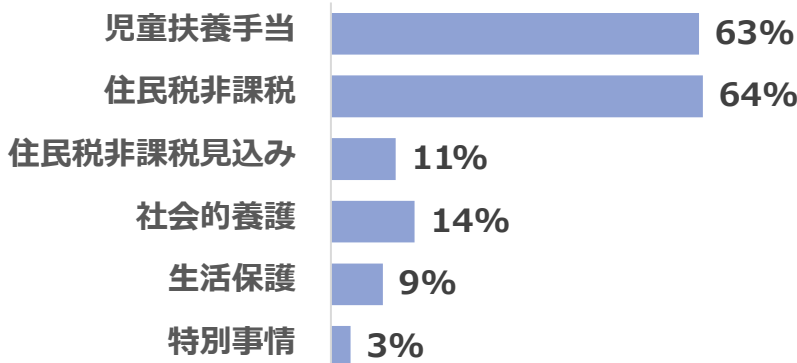
受給ご家庭の状況※

※（2025年度総受給者2541名、重複あり、延べ人数）

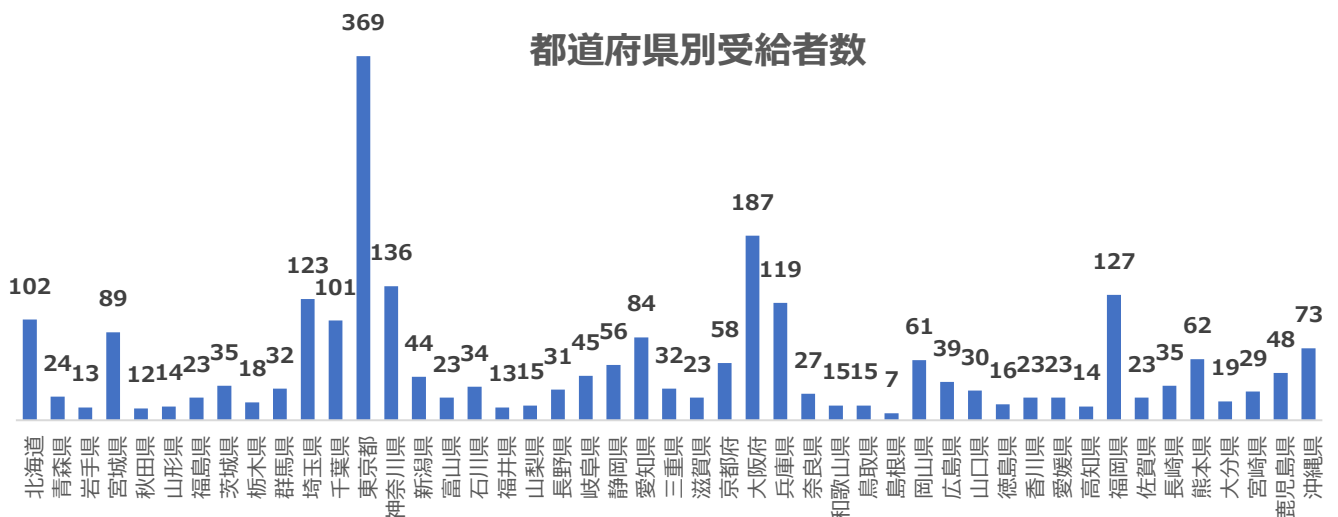
受給ご家庭はひとり親・非正規雇用の低所得家庭が大半を占め、社会的養護(児童養護施設・里親)の学生にも奨学金を届けています。受給者は全都道府県にわたります。



応募要件(複数回答可)



都道府県別受給者数

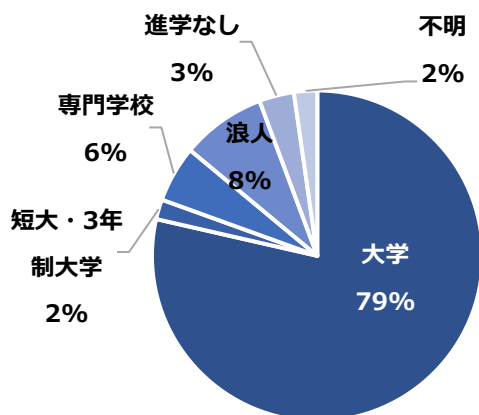


ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金(受給者616名) (1)

当奨学金は、経済的必要度だけでなく、進学への意志について作文で審査し、受験応援金(5万円) + 受験情報支援 + 合格後に10万円、と進学支援を強くサポートする奨学金です。

2025年7月に616名に5万円を支給、その後2026年2月まで、姉妹団体の認定NPOキッズドアからの受験情報・物資支援を行い、合格報告が届いた530名へ入学準備金10万円を支給しました。

□受給生の進学先



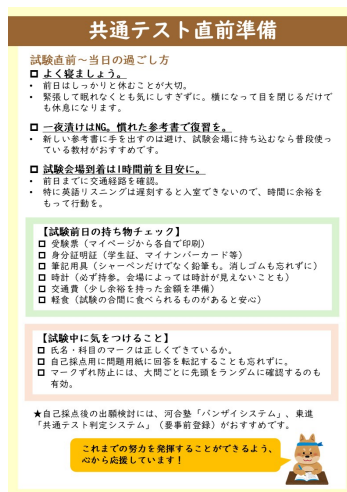
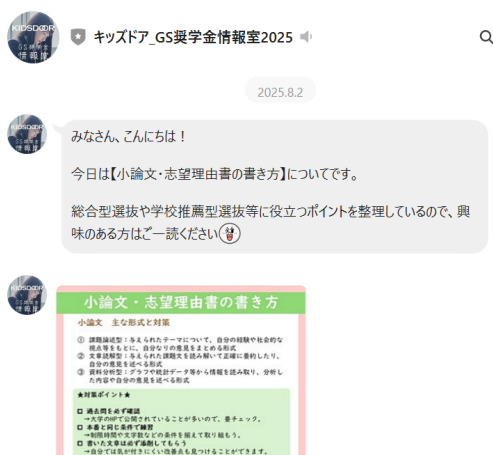
□応援パック(受験ガイド・文具)の送付(2回)

受験ガイドブックや文具、合格祈願グッズを送付し、GS社の社員ボランティアがパッキングを担当しました。



□LINE情報支援

週に1回、受験対策、奨学金、応援メッセージ、セミナー情報を配信。



□GS奨学金・フェアウェルパーティ

受給生(希望者)の進学のお祝いと新生活を励ますフェアウェルパーティを都内某所で開催しました。大学入学後の奨学金情報収集方法・応募論文の書き方セミナー、懇談会で楽しい時間を過ごしました。



ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金(受給者616名) (2)

2025年度受給生3名と、2024年度受給生で大学入学後1年経った卒業生1名に、GS奨学金がどのように進学の後押しになったか、大学生活への抱負についてインタビューをしました。

動画はこちらから⇒ <https://youtu.be/3d8AyXJjfRk>



地方公立高から首都圏の総合型受験で情報が限られていました。この奨学金のおかげで合格できたといっても過言ではないです。地方の同じような境遇の学生に還元したいです。



ひとり親家庭で要介護の祖父・障害のある兄弟のお世話もあり、大学進学で家族の負担が増えるのでは、と悩んでいました。奨学金で、自分は生きていいのだ、価値があるのだと思うことができました。



塾に通えず、5人兄弟の一番上でお世話をするため、限られた時間で集中して勉強しました。経済的に進学をあきらめるか、周囲と違うことに悩んでいましたが、受験をして看護の道に進学します。将来は、患者さんに信頼される看護師になりたいです。



就職も考えていましたが、この奨学金で大学進学に決めました。大学では心からやりたかったことができ、やりがいがあって楽しいです。(キッズドアの活動にスタッフとして参加して)、経済面等の同じ悩みを共有できる仲間が大事と感じました。(卒業生)

ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金(受給者616名) (3)

進路が決まった2026年3月に保護者・受給者を対象にアンケート調査を実施しました。

●アンケート調査方法：WEBアンケート、2026年3月13日～4月13日実施

●回答数：保護者546件（回答率89%）、受験生383件（回答率62%）

□保護者アンケート調査から

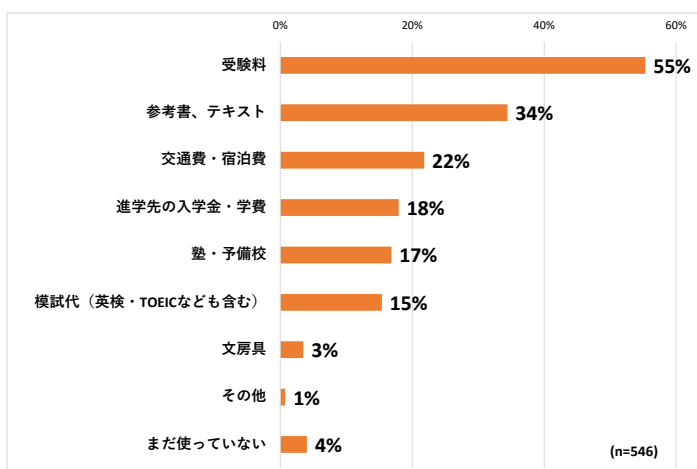
●世帯収入200万未満が7割、「困窮から抜け出す希望を持てた」という声が多く寄せられた。

●一方で、経済的理由により「受験学校数を減らした」、「塾・予備校に通わなかった、減らした」が上位に挙げられた。

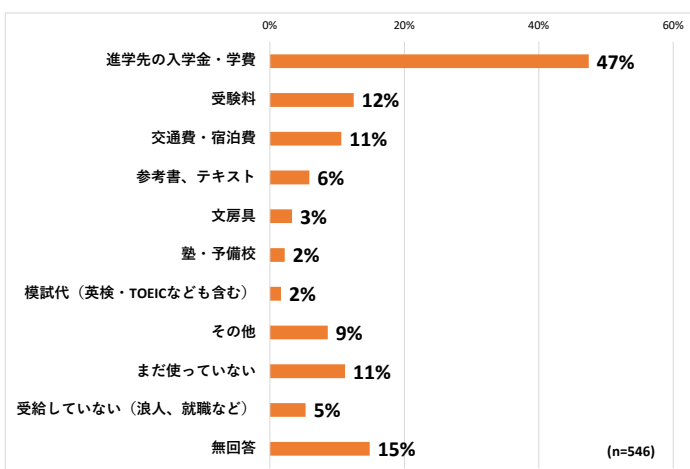
●「受験料・入学金に対する金銭支援」、「大学奨学金の支給時期の早期化」、「入学金の二重払いの問題の解決」への要望が多くあった。

●「受験を通して、自分の将来と真剣に向き合うようになり、精神的に大きく成長した」など、精神面での成長に対するコメントが多くあった。

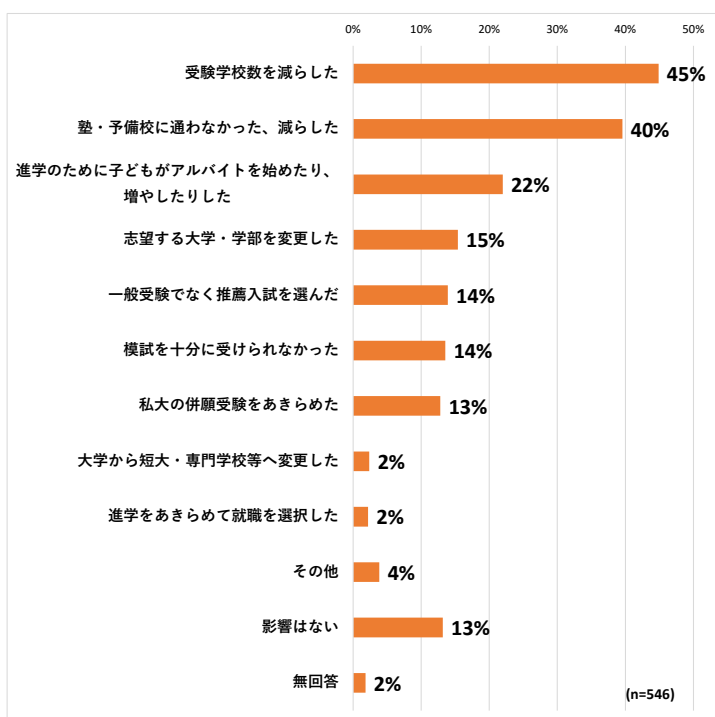
受験応援金（5万円）の使い道（複数回答）



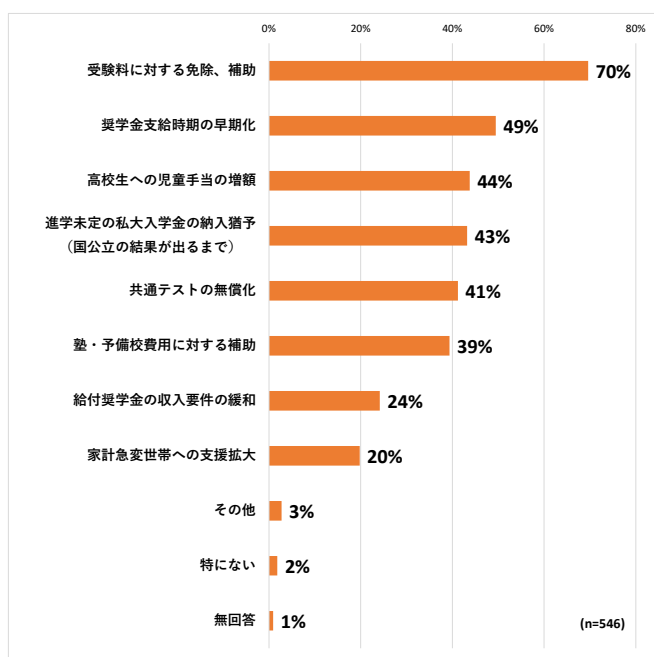
入学準備金（10万円）の使い道（複数回答）



経済的理由による子どもの進学への影響（複数回答）



進学に関して必要な支援（複数回答）



□受給生アンケート調査から

- 奨学金制度は単なる金銭的支援にとどまらず、将来への希望や社会貢献意識を育む重要な役割を果たしていることが確認できた。
- 一方、奨学金の受給決定時より、自身の将来や社会に対する前向きな回答の割合が低下している。受験時に経済的に苦労したことや、進学後の負担が現実的になってきたことが影響している可能性がある。

受験費用について保護者に
気を遣った：93%

入学金・学費を準備できるか
不安だった：88%

進学後の金銭面が不安：71%

受験する学校の数減らした：50%

予備校・塾に通えなかった：33%

受験・進学を諦めようと
考えたことがある：28%

受験生自身の気持ちと変化(受給時と受験後)



保護者からの声

自分の進みたい道を歩んでいけること、そんな娘がただただ眩しいです(母親である私自身にはそうした選択肢すらなかったので)

大学はJASSO奨学金が仮決定していても前期授業料の納入を待って頂けない学校でしたので、ゴールドマン・サックスからの給付金がなかったら、合格していても入学できませんでした。息子の人生を救って頂き、本当にありがとうございました。

貧困家庭から抜け出す手段として「学歴」があります。今の日本は新卒一括採用で、大卒でないと応募できない企業がたくさんあります。「大卒」というのは、一種の資格のようなもので「大卒」になれる可能性ができたことで、本人がすごく安定しました。

地方から東京への進学は経済的にもとても勇気がいったし、大きな決断だった。でも奨学金を受験費用や交通費として利用できたので、受験する後押しをもらったと気持ちが強くなった。奨学金がなければ、受験すらあきらめていたかもしれない。

里親ですが、小さい頃の生活の影響で無気力な方向にありました。高校2年生頃から大学進学を希望するようになり、児童相談所からも様々な奨学金制度を教えて下さり、金銭的な問題で諦める事なく大学にチャレンジする気持ちになり、良く頑張り生活面でも活発化して成長しました。

私自身中卒なので子どもが大学生なんて夢のまた夢です。自分の夢を子どもに託したわけではないですが立派に育ってくれてとても嬉しいです。

本当に苦しかったので、本当に学びたいと思って、誰も助けてはくれない世の中だと絶望していました。1人で何とかしないと。今回支援をいただけたことで、諦めずにチャレンジすれば、誰かにSOSは届くんだという希望になりました。

受験期間に大学のことを調べれば調べるほどお金のことで不安が大きくなり、本当に進学してもいいのかと悩んだこともありました。ですが、ご支援のおかげで安心して受験に取り組むことができました。

受験生からの声

将来は、貴社のように社会へ新たな価値を提供できる人材になり、私と同じような境遇にある若い世代に可能性を与えられるような人になりたいです。

奨学金のおかげで私は大学に進学することができました。後輩も奨学金を必要としています。この奨学金が次の世代にも残って欲しいと思っています。

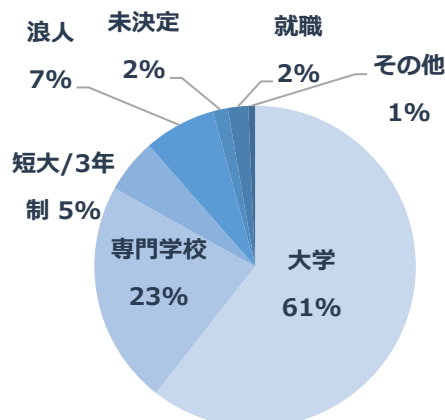
母子家庭に生まれた私にとって、大学は無縁なものだ感じていました。奨学金を使えば大学にも行けることを親から教えてもらい、未来への期待が生まれました。

奨学金だけでなく、文房具やノート、カイロ、キットカットなどの支援、そして合格を応援するメッセージに大変支えられ、勇気を貰いました。何度も大学進学を諦めて就職することを考えていましたが、諦めずに続けてきて本当に良かったと思います。

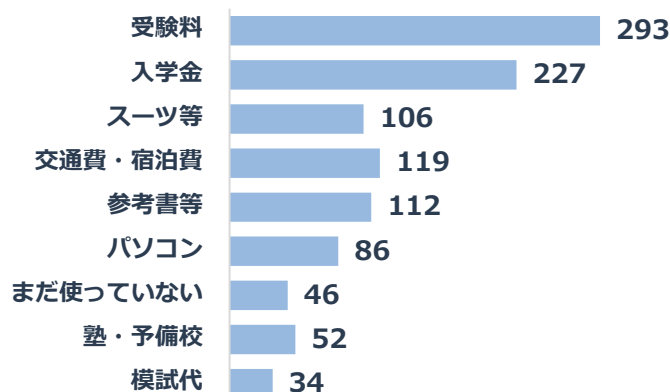
進学応援奨学金 supported by 日本生命(受給者1266名)

● アンケート回答数1157 (受給者1266名、回答率91%)

進路について



奨学金5万円の使途(複数回答可)



□ 応援パックの送付

2025年12月に、オリジナルキットカットや文具などに、日本生命の従業員の方々が、直筆メッセージを同封し、心を込めてパッキング、送付しました。



□ 受給生・ご家庭からの声

受験期にスタッフさんからの心温まる手書きメッセージ付きのキットカットは、娘の記憶に一生残ることでしょう。「世の中には、自分を応援してくれる人が必ずいる。その事を忘れず、自分も応援出来るように頑張る！」と言っていた姿を見て、日本生命さんには、ただただ感謝しかありません。(保護者)

力強くエールを送ってくださるカードや緊張を和らげてくれるメッセージを見ていると、たくさんの方からの応援を強く感じられて、とても励まされました。また、複数の大学を受験したため、受験料のことが不安だったのですが、いただいた奨学金のおかげで私立大学の受験料を全て納めることができました。(受験生)

児童養護施設から進学を選択する子が少ない中、学力面でもですが金銭面で諦める子も多いのが現状です。このような機会を頂けることは、子どもたちのやる気や学習意欲につながるもので、本当にありがとうございます。(施設保護者)

無事に大学に合格することができました。応援パックを開けた時はびっくりしたと同時に涙が出るほど感動したのを覚えています。たくさんのメッセージは、勉強に追い詰められ、不安でいっぱいなのに心が温かくなり、こんなことをしてくれる企業があるなんて！と嬉しさでいっぱいになりました。(受験生)

おかげさまで進学に必要な物を買うことができました。また、年末にいただいた応援メッセージにはとても励まされ、もう一踏ん張りという気持ちになることができ、第一志望合格に繋がりました。(受験生)

ひとり親家庭で3人の子供を育てているため、精神的、肉体的にも大変な日々の中、日本生命さんがこの様な取り組みをして下さっていることを初めて知り心が救われる思いになりました。10万円もの支援をしていただき、懷事情のみならず、気持ちの面でも本当に有難く助かりました。(保護者)

英検奨学金（受給者592名）

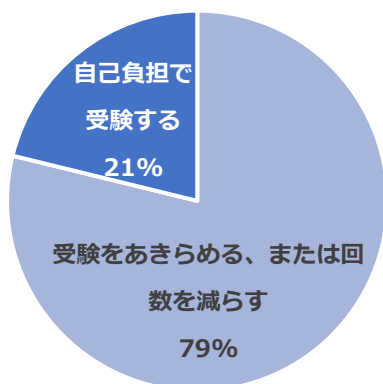
7年目を迎える英検奨学金は、周知が進んだことで応募者が毎増加しており、応募者の多くに支給できていない状況です。受験における英語民間試験の重要度が増している状況で、受験料の捻出が難しい低所得家庭では、十分な受験機会が確保できていないことがアンケートからわかりました。

＜アンケート調査から＞

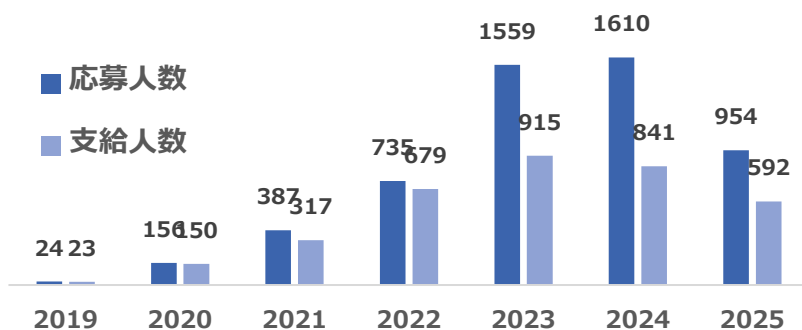
- 回答数：549名(回答率93%、受給者592名)
- 低所得家庭にとって受験料負担は重く、経済的制約によって受験機会・回数が制限されている。
- 英検奨学金が、英語を勉強するモチベーションや外部試験を受けるきっかけとなっている。
- 英検奨学金により受験チャンスが増え、英検受験結果を受験に利用できた。

英検奨学金がない場合、

どうしますか



応募者・受給者の推移



※2023年度・2024年度は、年2回募集。

□ 受給生・ご家庭からの声

英検受験料が高く、上位級を目指したいにも関わらず親に言い出せずにいたようです。落ちてしまったらどうしよう、とも思い悩んでいたようです。奨学金をいただく事で、子どもも気兼ねなく試験を受けたいと言い出してくれてよかったです。「高いなあ」等、つい出てしまう言葉ですが、言わないように気をつけていても、お金の問題は切実です。

経済的理由で英検を受けたことがありませんでしたが、中学2年で英検2級の二次試験は満点合格でした。塾には通ったことがない公立中学の2年生です。経済的理由で挑戦することさえできなくても、努力を続けている子がいることを見つけて頂けて、本当に感謝しています。ご支援のおかげで英検2級という高校入試の特別推薦の条件をクリアでき、高校入試もチャレンジすることができます。

小中学生の頃に不登校だったこともあり、英語に自信がなく、今回3級を受験しましたが、無事合格することができました。この経験を通して少し自信が付き、英語学習へのモチベーションも高まりました。英検の受験費用は決して安くはなく、進学に必要だと分かっているにもかかわらず、受験を決断することが難しい状況でした。しかし、今回奨学金をいただいたことで受験の機会を得ることができ、大変感謝しております。

経済的に受験費用を出してあげられなかったが、この制度を利用させて頂き、本人が心豊かになり、自分も大学へ進学出来たら誰かの役に立ちたい、立つ人間になりたいと強く思えたと言っていて、親としても嬉しかったです。英検の結果がしっかり伴わず申し訳なかったですが、心も育てて頂けて感謝しています。

我が家にとって英検受験の検定料が高額なため、受験を迷っていましたが、奨学金が実施され受験することが出来ました。奨学金が頂けた事で、息子に対して必要以上のプレッシャーをかけずに済みました。無事に合格でき、高校受験にもプラスになると思います。ご支援して下さいました方々に、有難い気持ちでいっぱいです。また本人も自信がついた様で、将来は英語を使った仕事に就きたいと、初めて将来の話しを口にしていました。

現在準1級取得に向けて勉強しております。上位級になる程、受験料も高額になります。また、私は準1級の試験に昨年から新たに變更追加されたパートで苦戦しているため、奨学金を頂くことで、安心して受験できました。

新生活準備奨学金（受給者67名）

新生活準備奨学金は、新年度から進学・就職する方向けへ5万円を支給する給付金です。

受給者のうち、**年収200万円未満のご家庭が100%、ひとり親(母)家庭が90%**と、

より経済的に厳しいご家庭を支援しています。

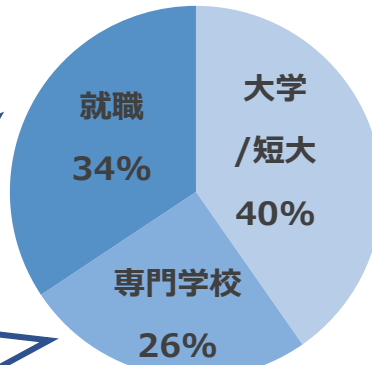
受給生から届いたメッセージ・ハガキを一部ご紹介します。

大学が遠方であり娘はひとり暮らしを始めます。部屋を借り、家電を揃えることで手一杯となり、学用品やPCまで手が回らないなか奨学金の存在を知り応募、先日奨学金をいただくことが出来ました。お蔭様でPCを購入する目処がつき、ほっとしているところです。

今の世の中何もかもが値上がりしてしまい家の中では節約ばかりで子供の希望の進路も諦めさせてしまい申し訳ない気持ちです。今回この奨学金のお陰で子供も私も精神的にも経済的にも救われました。

受給者の進路

娘が進学したいと言ってきた時、とても絶望的に感じました。仕事を増やしたりやりくりをしてきましたが、この度の資金のおかげで気持ちが少し楽になりました。



卒業 就職の決まっている娘に何も出来なくて頭を抱えてた時にこの奨学金をしり 娘のスーツの購入にあてることができました。

収入より出費が増えて生活していくのに何度 進学を諦めて欲しいと伝えた事やら…頼る所もなく苦しいです。ですがやはり親として娘の夢は叶えてやりたい！進学先が決まっても常に出費と戦い中です。しっかり進学する娘の学用品のiPad & 付属品を購入させていただきます。



寄付者の方へのメッセージをお願いします
 この度は、奨学金を交給して頂き誠にありがとうございます。
 中学生の頃から志していた大学に無事合格することによって安心しているところです。
 新生活に向けて、様々な家具を一新していた中、このような資金を頂いてとても助かりました。
 母が1人で私と弟を養ってくれている姿を近くで見ているのでお金のありがたみを実感します。小学校教員に向けて4月から精一杯頑張っています。
 また何かの機会がありましたら、宜しくお願い致します。

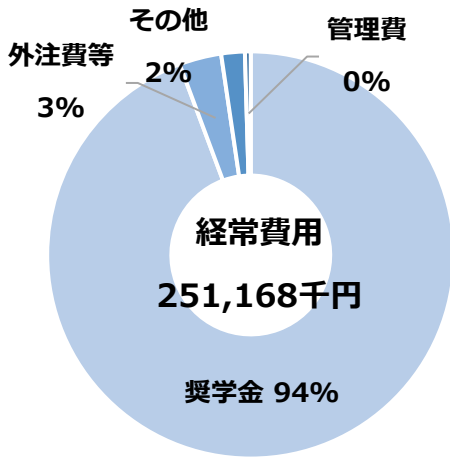
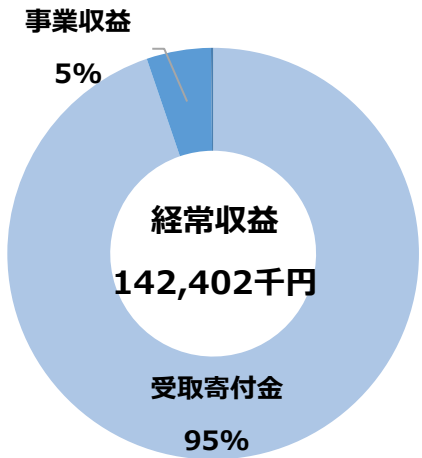
寄付者の方へのメッセージをお願いします
 寄付者の皆様方、まず「本当にありがとうございます。」
 親にもあまり頼れず、新生活不安で、お礼のため、寄付してくださったお金のなかで「安心して新生活を迎えられよう」と。
 抱負としては、まずは自立できるように、自炊などして節約を行い、無事に仕事を続けることです。
 そのために 寄付されたものを無駄に使わず有効に活用させていたいただきます。

2025年度 会計報告

令和7年度（2025年度）活動計算書

(単位：円)

科 目	金 額	小計・合計
経 常 収 益		
受取寄付金		134,958,328
事業収益		7,203,900
その他の収益		240,517
経 常 収 益 計		142,402,745
経 常 費 用		
1 事業費		
奨学金支援	236,900,467	
外注費	8,402,461	
支払手数料	1,837,352	
給料手当	2,112,000	
通信費	570,942	
その他	189,510	
事業費計		250,012,732
2 管理費		
保険料	296,940	
支払報酬料	528,000	
減価償却費	330,000	
ホームページ	0	
その他	0	
管理費計		1,154,940
経 常 費 用 計		251,167,672
当期経常増減額		-108,764,927
税引前当期正味財産増減額		-108,764,927
法人税、住民税及び事業税		70,000
前期繰越正味財産額		162,945,258
次期繰越正味財産額		54,110,331



ご支援いただいた法人・個人（2025年度）



ゴールドマン・サックス



日本生命保険相互会社



一般財団法人IC齋藤育英会

■ 団体概要

特定非営利活動法人キッズドア基金

URL : <https://kidsdoorfund.com/>



2018年1月、認定NPO法人キッズドアの姉妹団体として設立。
日本の明るい未来のために子どもと社会をお金でつなぐ基金として、困窮家庭への奨学金や、日本全国の子どもの貧困に取り組む団体の支援に取り組んでいます。

キッズドア基金

検索



【お問い合わせ】

〒104-0033 東京都中央区新川2-1-11

八重洲第一パークビル7階

TEL : 03-5244-9993

e-mail : info@kidsdoorfund.com

